

## 第7回 医療被ばく国民線量評価委員会 議事録

開催日時：2023年2月27日（月）18:00～19:30

場所：オンライン

出席：小野（委員長）、恵谷、川浦、張、長谷川、藤淵、松原、横山（敬称略）

欠席：赤羽（敬称略）

### 議題

#### 1. 検診の件数の検討

がん検診件数についての文献等調査結果について恵谷委員から報告した。資料として、政府機関や保健関連団体の公表しているデータや関連学会等のデータを提示した。胃がん検診、受診者数に関するデータとして、厚生労働省の国民生活基礎調査、地域保健・健康増進事業報告、推定対象者を基にした受診率がある。

検診学会の web サイトから検査件数に関して打診することで情報提供していただける可能性もあり、調査法の一つとして検討する。

#### 2. 放射線治療の件数の検討

放射線治療の実態調査について JASTRO と QST の放射線治療実態調査について小野委員長から報告した。また JASTRO と JSMP による治療部位別に治療線量、治療計画での線量、位置照合線量の実態調査をしてまとめられている。

治療線量は値が大きいことから国民線量に反映させるかの検討を継続する。

#### 3. 核医学の件数の検討

小野委員長より、IsotopeNews や論文に公開されている近年の検査件数等の情報を報告した。臓器線量、実効線量の評価について、いくつか計算ソフトが販売、公開されているが、近年新たな内用療法の RI も増えており、対応しているかを確認する必要がある。

#### 4. 今後の委員会活動について

本委員会の最終報告について、科研の採択結果によるが、本委員会の成果をどうまとめるか、検討した。線量推定法の提案まで実施するか、予算がつけば実際に評価するか、論文として公開されることを検討する。

J-RIME へ国民線量調査について相談することとした。

次回開催予定 未定

以上（書記：藤淵）